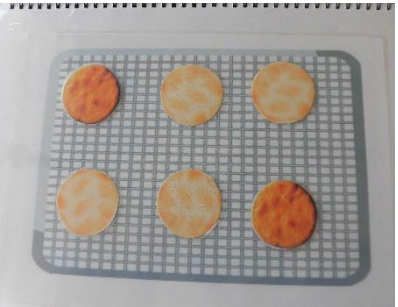
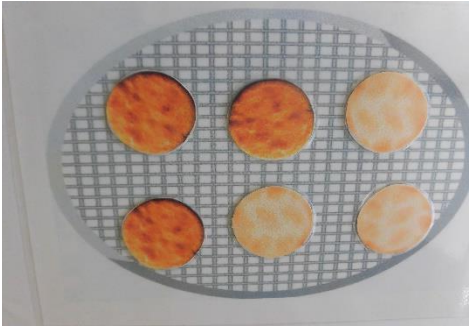


自作教具の活用事例

【作品名】 おせんべい やけたかな	【学校名】 日立市立大沼小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動 発音の練習	【制作者名】 内山 美津子
【制作の意図】 口で唱えながら指でせんべいを指すことで、1対1の対応が上手にできるようにする。 楽しみながら、苦手な音の発音練習をすることが期待できる。	【使用方法】 「おせんべい やけたかな ひっくりかえてみましょ」と唱えながら、せんべいを順番に指で指していく。止まったところで、ひっくり返して、両面焼けたものを自分の分にできる。スタートの場所は、自分で選べるようにする。獲得枚数が多い人が勝者となる。
【制作上の工夫】 せんべいを焼く網は、楕円形と長方形の物を用意して、選ばせる。 せんべいは、表と裏の間に段ボールをはさんで厚みをつける。 焼けたせんべいとわかるように、焦げ目をつける。	【見取り図】 ・スケッチブックを台紙として、印刷した焼き網を貼っておく。 ・写真用紙にせんべいを印刷する。 (焼けていない物、焼けた物) ・せんべいにラミネートをかける。 ・焼けていないせんべいを並べる。 ・順次、片面が焼けた物、両面が焼けた物と交代する。
【写真】  	
【材料・材質・部品等】 スケッチブック 段ボール 写真用紙 ラミネートフィルム	【使用効果と応用発展】 特に「セ」や「ケ」「タ」「カ」「シ」などの音の発音練習に効果がある。 ことばが短いので、すぐに覚えて唱えることができる。 指の動きと音節の対応がよくなり、止まったところで、喜んでせんべいをひっくり返している。 どこからスタートしたらいいか、考えるようになり、枚数を獲得するのが上手になってくる。